

はじめてのパッチワーク .1

正方形でつくる 文庫本カバー



できあがりサイズ : 約横31cm×縦16cm×厚み0.5cm(開いたところ)  
作り方によってサイズは多少異なることがあります。

必要な道具

パターンスタンス(80-850)正方形30mm

縫い針/待針/はさみ/縫い糸(布と同色のもの、もしくは白または生成)/しつけ糸/キルターペンシル/アイロン など

用意する材料

- 布(ピース用)-----1枚(約5×5cm)16枚分
- 布(表用)-----約42×18cm
- 布(裏用)-----約39×18cm
- ベルト(幅1.5cm)-----約18cm 1本
- 平ヒモ(しおり用)-----約20cm 1本

※材料は多少余分をみて、多く表記してあります。

ご注意

※道具や材料、できあがった作品を、お子さまが誤って扱い、飲み込んだりケガをすることのないように十分ご注意ください。

はじめに

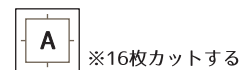
- ・まずはじめに説明書全体をよく読みましょう。次に材料がそろっているか確認します。
- ・生地にしワがある場合はアイロンをあてて伸ばしておきます。
- ・縫い方によって大きさが若干変わり、キルティングをすると多少縮みます。寸法、実物大図案の位置は目安ですので、参考にしてバランスよく作ってください。
- ・数字の単位はcmで全て約表示です。

①生地の裁断

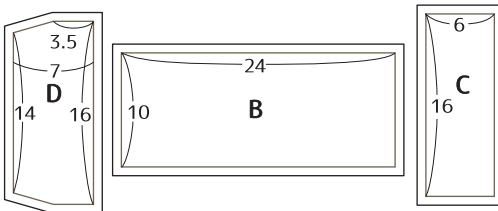
1.生地の裏側にパターンスタンスを使って印つけをします。型紙を使う場合はキルターペンシルなどで型紙のきわをなぞって布に描き、その後、縫い代(0.7cm)を描き足します。

2.生地を図のようにカットします。

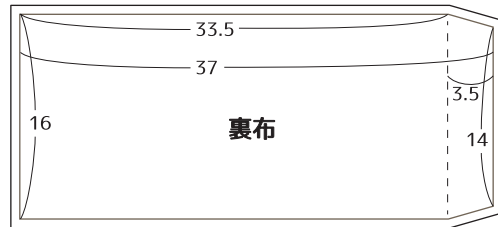
●布(ピース用)



●布(表用) 縫い代すべて0.7cm

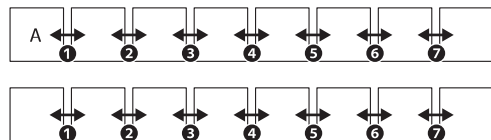


●布(裏用) 縫い代すべて0.7cm



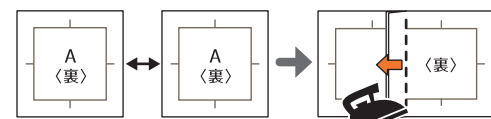
3.すべての生地をカットしたら実物大図案(2枚目)を参照し、Aのピースを表向きにならべてレイアウトを確認します。

※①～⑦の数字は縫い合わせる順番です。

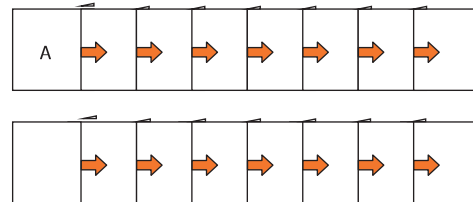


②ピースワーク

1.Aのピースを中表に合わせて、角と合印に待針をうち、縫い合わせます。ピースを開いて縫い代を(←)の方向にたおし、アイロンをあてます。



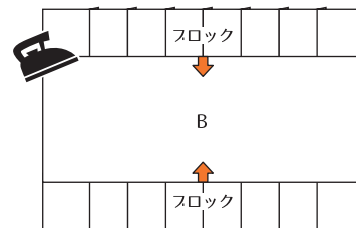
2.実物大図案を参照し、すべての生地をピースワークします。縫い代を(←)の方向にたおしアイロンをあてます。



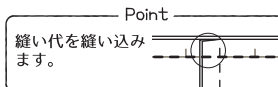
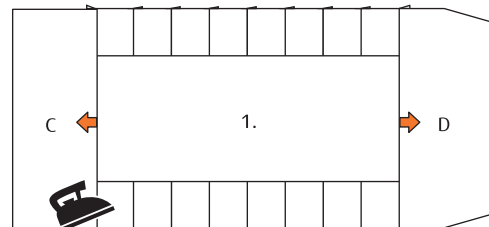
③仕立てをします

ブロックのできあがり

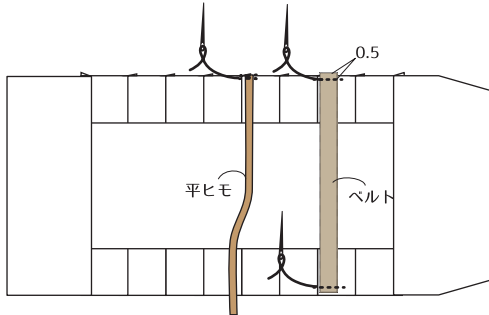
1.縫い合わせたブロックとBを縫い合わせます。縫い代は起こさずに縫い込みます。縫い代を(→)の方向にたおし、アイロンをあてます。



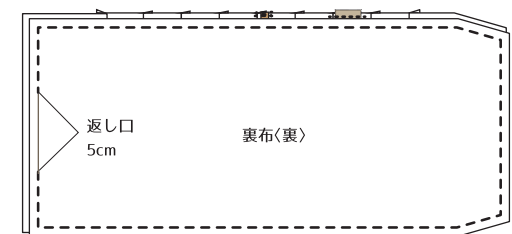
2.1の左右にCとDを縫い合わせます。縫い代は起こさずに縫い込みます。縫い代を(→)の方向にたおし、アイロンをあてます。



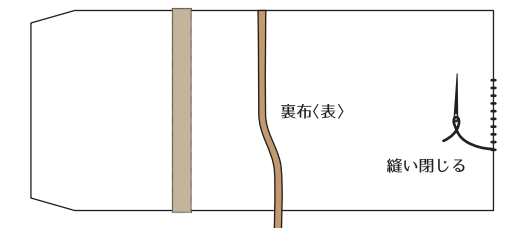
3.2のベルトつけ位置にベルト、しおり付け位置に平ヒモをしつけ(仮縫い)します。



4.裏布を3に中表に合わせて周囲を一周縫います。この時、返し口を残しておきます。平ヒモは中に入れ込むようにします。



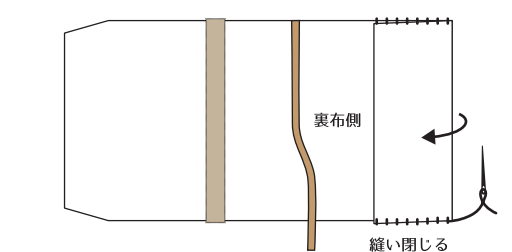
5.返し口から表に返し、返し口をコの字閉じて縫い閉じます。アイロンをあてて形を整えます。



【コの字閉じ】折り山と折り山をつき合わせ、コの字を描くように、縫いしろの折り山を交互にすくいながら閉じます。



6.Cの部分を図のように裏布側へ折り、上下をコの字閉じて縫い閉じます。

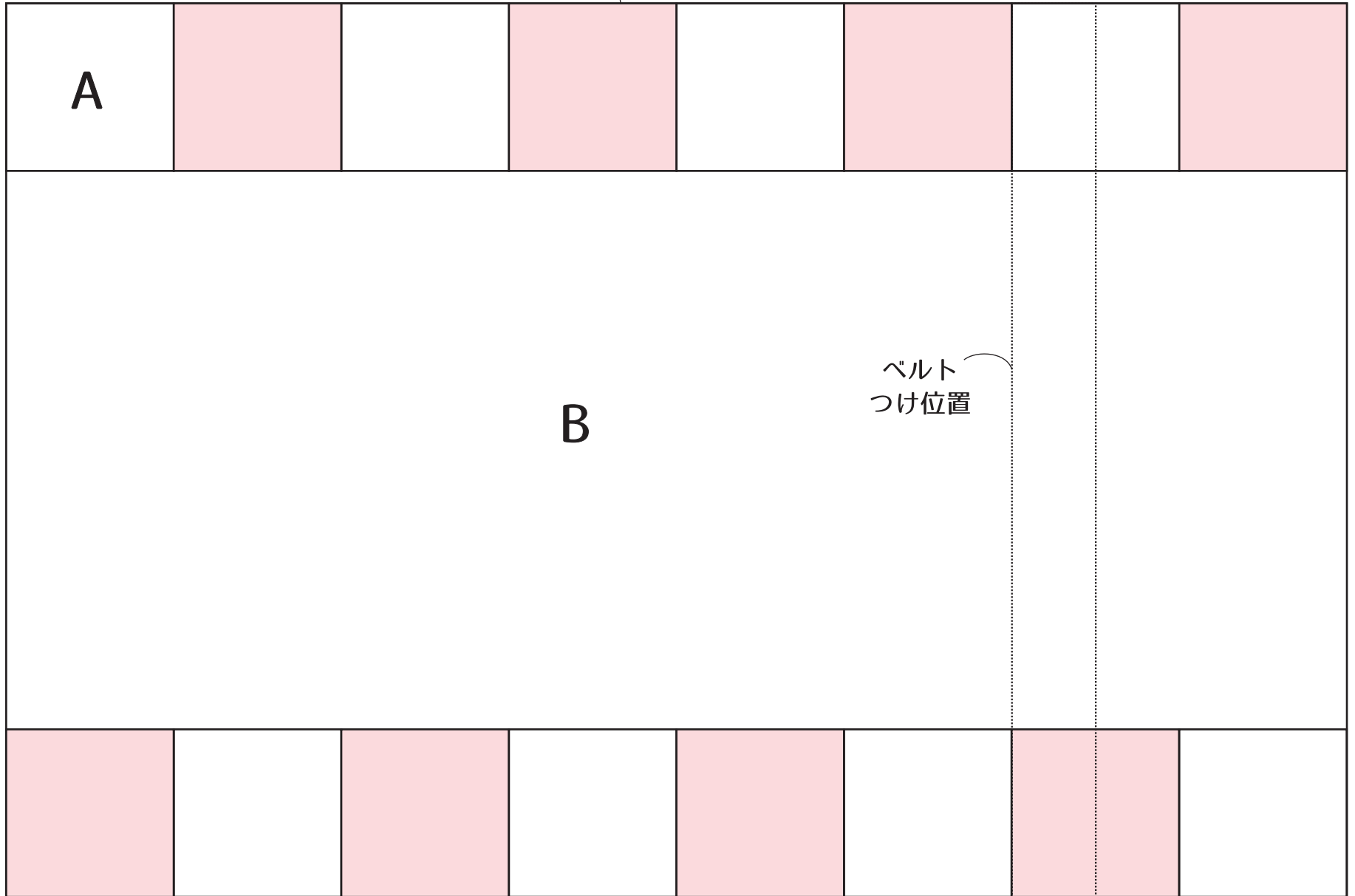


-できあがり-

# 実物大図案

- ・ピースのレイアウトの参考にしてください。
- ・ピース部分を型紙としてお使いいただけます。

しおりつけ位置



ベルト  
つけ位置

B

A